

# 11 月定例記者会見 会見録

令和元年(2019年)11月6日(水) 13:00~14:00 庁議室

## 質疑応答

### ■ 「つくば市公立保育施設の改善に関する基本方針」について

#### 記者 A

この方針を作成するに至ったきっかけを伺います。

#### 市長

これまでも、「耐震基準を満たしていない公立保育施設の改善」については庁内で検討していました。例えば私が市長に就任した際、北条保育所は危険な状況でしたので、現在は建て替え工事をしていて、来年度にリニューアルします。このようなことから、耐震基準を満たしていないその他の保育施設についても、対策を進めていかなければならないと考えていました。詳細は担当課からお伝えします。

#### こども部長

平成 29 年 7 月時点で新耐震基準を満たしていないものが 9 施設あります。これらの施設の対応としては、業者を入れ現地調査を行い 9 施設すべてに簡易な補強等を実施しました。しかし現在も新耐震基準を満たしていないという事実は変わりありませんので、早急に対応していかなくてはならないので今年度にとりまとめ来年度以降計画を実施していきたいと考えています。なお、北条保育所は、耐震の数値も低かったのに加え、立地上、県の土砂災害特別警戒区域の範囲内であったというのもあり迅速な対応をしなければならなかったので、保育所の保護者とも話し合い、来年 10 月の開所を目指して建て替え工事を行っています。

#### 記者 D

北条保育所が令和2年度中に開所予定と資料にあります。旧保育所は土砂災害警戒区域にありますが、新設される北条保育所は、土砂災害警戒区域の外に移転するのか、同じ場所に建てられることになるのか伺います。

## **こども部長**

旧北条小学校の南側に以前は筑波幼稚園が建っていた空き地があり、そこに新築移転するのですが、その場所は土砂災害警戒区域外です。なお、保育所の駐車場は旧北条小学校のプール跡地を充てる予定です。

## **■つくばマラソンについて**

### **記者 B**

大会テーマは「マラソンを科学する」ですが、科学に絡むイベントや、ランナー向けの取組があれば伺います。

### **スポーツ振興課長**

つくばマラソンは「マラソンを科学する」という大会テーマの下、マラソンを様々な角度から科学するというフレームで「進化していくマラソン」を目指しています。昨年度までは、「スタート」「景観」「交通規制」「給水・給食」「ランニングフォーム」「応援」の6つのテーマに取り組んでいましたが、今年は新たに「レース戦略」（ペース配分）も、新たなテーマとして設けています。具体的には、一般的にマラソンではイーブンペースで走ることが最適とされていますが、レース経験の少ない市民ランナーは自分の適性ペースを把握することは難しいため前半のオーバーペースの結果後半失速するということがよく見受けられます。そこで今回はつくばマラソン全参加ランナーのビッグデータを解析し、「マラソン成績とペース配分の関係、性別や年齢等の影響」などを明らかにして、そのデータをランナーの皆さんに各自のペース戦略の指針となるように提供していく予定です。

## ■「第2期つくば市子ども・子育て支援プラン」(案)について

### 記者 C

第1期との大きな違いを伺います。また、これまで市の課題である待機児童対策について、どのように盛り込まれているのか伺います。

### 市長

大きな変更点としては、「新放課後子ども総合プラン」が策定されたので、それを取り入れました。詳細は担当課が説明します。

### こども政策課長

新たな計画の中では「新放課後子ども総合プラン」の内容を盛り込んでいます。こちらは昨年、文部科学省と厚生労働省が連携して作成したプランで、第1期を策定する際にも存在していたのですが、その内容を盛り込めなかったこともあり、今回は盛り込んでいます。

放課後対策については児童クラブの待機児童の問題もあり、その部分を強化していくという意味合いもあります。保育所の待機児童対策についても現在、県内の市町村の中で1番待機児童が多いということで、喫緊の課題となっています。新プランの中で市全体の教育・保育の見込量を確保するための方策等を記載しています。あわせて待機児童対策についても進めていきたいと考えています。

### 記者 C

数値的な目標はありますか。

### こども政策課長

人口推計等から、市内の教育・保育の見込量を算出してあり、それを確保するために何人の枠が必要かという形でプランの中に記載をしています。

## ■市役所本庁舎レストランの運営事業者募集について

### 記者 E

市役所 1 階レストランの運営事業者を募集する旨のプレスリリースが 10 月 31 日にありましたが、申込期限が 11 月 13 日なので、プレスリリースをしてから 10 日程度で募集を終了してしまうのは非常に短いと思います。何か急ぐ理由があるのか伺います。

### 財務部長

現在の事業者とは本年度末まで現在の契約があるため、来年の 5 月前後にオープンできるようにするためにスケジュールを組んでいます。

### 記者 E

現在、運営している事業者と市との契約が今年度末で切れるということですが、レストランという業態にして募集するのは初めてか伺います。

### 財務部長

現在も一般の方が使用できるレストランになっています。基本的には今と同じ形態で募集をかけています。

### 記者 E

契約は 1 年ですか、それとも 3 年ですか。

### 財務部長

今回は 5 年の契約です。

### 記者 E

年度末で契約が終了するのであれば、多くの事業者に参加してもらって入札をするという方が、

透明性の確保ができると思います。市がイメージするレストランを選定するのであれば、早い段階から募集を開始すれば良かったと考えますがいかがですか。

#### **財務部長**

今回の募集の前段として、8月に庁舎レストラン活用に係るサウンディング（対話）型市場調査を行っています。その際も、各事業者には広く周知した経緯があります。

#### **記者 E**

サウンディング調査を実施し、事業者のニーズを把握し、そして、その前段に広く周知した経緯を踏んでいるので透明性は確保できているという理解でよろしいですか。

#### **財務部長**

はい。その通りです。

### **■高エネ研南側未利用地について**

#### **記者 C**

高エネ研南側未利用地については、市議会でも「高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会」が設置され、先日行われた全員協議会でもある程度、方向性は示されたと思います。

今後のスケジュールとしては年度内に売却先を公募するという予定であったと思いますが改めて伺います。

#### **市長**

調査特別委員会で議論していただくことになったので、その議論の時間を長くとるスケジュールになると思います。本来、市が民間事業者から利活用計画の募集をし、それに対して市民や議会の意見をいただき、市としての計画を作るという流れでしたので、その中に調査特別委員会の議論の内容が上乘せされると理解しています。多くの議論を重ねた上で方向性が見えてくれば良い

と思っています。

### **記者 C**

スケジュールがどれくらい遅れるかという想定はありますか。

### **市長**

調査特別委員会では、時間をかけずに結論を出したいと委員長が話しています。調査特別委員会での議論を見守って議員の皆さんとコミュニケーションをとっていきたいと思っています。

### **記者 C**

事業提案をした事業者がありましたが、スケジュールの遅れによって今後の交渉などに影響あるのか伺います。

### **市長**

あくまでも今回は全体利用を前提とした民間主導による土地利用の提案として受け、その提案をもとに様々な議論を行いました。よって、その事業者に売却が確定したという話ではありません。今後の方向性は、大きくは変わらないと思いますが、調査特別委員会の議論で示された結果によって、今回事業提案した事業者に限らず検討していくことになると思います。

## **■つくば駅周辺の活性化について**

### **記者 D**

クレオ跡地について旧イオン棟は解体工事をしていますが、旧西武棟は動きがないように思います。旧西武棟の今後のスケジュールや、入居店舗などの情報について伺います。

### **市長**

元々、旧西武棟は時間がかかるという話だと理解しています。

## 都市計画部長

来年度中のオープンを目指していると聞いています。入居店舗などは交渉中なので市が把握している情報はありません。オープンの時期についても、前後するかどうか把握できていない状況です。

## 記者 E

クレオは民間の業者が買い取って再整備を進めていますが、市でも「センタービル」を軸に中心エリアのまちづくりを考えるような話が昨年（平成 30 年）の 11 月の定例記者会見でありましたが、その後の進捗を伺います。

## 市長

庁内・庁外の関係者と協議を行っています。「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」も設置され、様々な議論をさせていただいています。

## 記者 E

センタービルの利活用方法を探るためにコンサルなどに調査委託をするなどの取組を行っているか伺います。

## 市長

調査については、昨年度コンサルに委託しました。今年度は調査報告をもとに検討を行っているところです。

## 記者 E

利活用の可能性などをまとめ、報告書として議員に提出する予定はありますか。

## 市長

議員の皆さんからの意見も踏まえた計画にしたいと考えています。市側が一方的に計画を作るということではなく、議会の調査特別委員会の議論も尊重した計画にしていきたいです。

## ■台風 19 号の通過による今後の課題について

### 記者 C

台風 19 号について市内では特別大きな被害というのは無かったと思いますが、一部の避難所では満員や駐車場が満車となり別の避難所に案内した状況もあったと聞きました。今回の台風 19 号の影響による災害の対応の総括と今後の改善点について伺います。

## 市長

駐車場が満車になってしまった件は、今後の課題だと感じています。一方で、各地区においてどのように避難していただくかということは各地区の防災計画等を踏まえ庁内で検討しているところです。今回、当市が直面したさまざまな課題については、解決できるように対応していきたいと思っています。

## 終了